

インフラメンテナンス国民会議 近畿本部 第 1 回フォーラム 開催結果

開催概要

日時：平成 29 年 1 月 31 日(火) 14:00～16:30

参加者：地方自治体※：7 府県、2 市町村 (23 名)

※ 政令市は府県にカウント、滋賀県建設技術センターは滋賀県と同一とカウント

民間企業等：54 社 (うち、協会等 7 団体を含む) (96 名)

事務局 (国土政策研究会) (10 名)

国土交通省：総合政策局、近畿地方整備局 (7 名)

メンター：2 名

出席者合計 138 名

フォーラムの開催結果

- ・ 関西大学の坂野教授より基調講演「オープンイノベーションによる技術開発促進～東大阪に於けるマッチング事例～」をいただき、新たな技術開発の背景にはニーズとシーズのマッチングに加えて検証試験や現地での試行が重要であったという経験をふまえた講演があった。
- ・ 今回の班別討議を実施するにあたり、施設管理者が抱える維持管理の課題を事前に収集し、「橋梁・コンクリート構造物点検関係」、「下水道関係」、「道路法面関係」、「除雪機械関係」の 카테고리で 8 テーマについて班別討議を行うこととした。
- ・ 班別討議では、行政の抱える施設管理のニーズについての概要説明を行った後、課題解決に向けた意見交換を行った。
- ・ その結果、行政のニーズに埋もれている課題や社会的な背景など、様々な意見が出され、予定時間を超過する班もあった。
- ・ 今後は、次回のフォーラムに向け、各テーマにおける課題の整理や絞り込みをする予定。
- ・ 最後に、関西大学の坂野教授からは、「非常に盛況で活発なフォーラムであった。」とのコメントとともに、「施設点検においては、何かあった時に見てなかったは許されないので、見られない箇所も何とかして見ることが必要」であることや「ニーズとシーズのマッチングには長い時間が必要で、これを支えるのは人材資源 (人財) であり、今後もこの活気を持続することが大切と思う。」とのコメントもいただき、インフラメンテナンスの各課題解決に向け、着実に機会を設けていくことを確認しました。



班別討議の様子